

# News Letter

## 鼻出血(鼻血)について

耳鼻咽喉科 横畠悦子

この部位からの出血の多くは適切な圧迫で止血可能です。鼻血は思ったほどの量は出ていません。あわてるに止血しやすくなります。まずあわてないこと!落着いて鼻翼(小鼻)を指で大きくつまんでみましょう。多くの場合は小鼻の圧迫で止まります。この間に、鼻の中にティッシュなどを詰めないで下さい。また、顔は下向きか横向きでのどにまわる血を飲みこまないようにしましょう。仰向けに寝るのはよみ込むと、気分が悪くなり嘔吐飲み込むと、血をたくさん飲

鼻出血の原因の多くは局所的なもので、鼻をほじるなど手指による鼻粘膜の搔傷、副鼻腔炎(蓄膿症)・アレルギー性鼻炎など鼻粘膜の炎症に伴う粘膜のビランなどによりおこることがほとんどです。また、鼻出血の70~80%は、鼻中隔前方の血管の豊富な部分(キーゼルバッハ部といいます)からの出血で

し吐血とまちがわれることもあります。20~30分圧迫しても止血しない時は、病院での止血処置が必要になります。

この部位からの出血の多くは、ガーゼを入れたり、電気凝固止血(電気で焼く)などの方法があります。出血が多い場合には入院で様子を見ることがあります。

また、鼻出血の多くは、先に述べた鼻腔粘膜の破綻による出血ですが、時に鼻副鼻腔腫瘍や白血病・血友病など血液疾患による鼻出血もあります。少量でも繰り返す鼻出血の場合は、専門医を受診しましょう。



顔は下向きか横向きで。仰向けに寝るのはよくありません

## 看護部教育委員会

### 『新人看護師を迎えて』

平成18年4月、看護部では、18名の新採用看護師を迎えた。看護学校での基礎教育を終了し、晴れて国家試験に合格、入職された新人看護師にとって、期待とは裏腹に不安も拭い去れないものがあると思います。私たち、看護部教育委員会では、この新人看護師の教育を担当しています。新人看護師は、看護上必要な技術の修得だけで



## 部署だより



はなく、科学的、法的根拠に基づいた看護実践、チーム医療における自らの役割を認識した上で行動すること、看護職員として必要な基本姿勢と態度などの修得が到達目標とされています。入職1年間は、各部署で先輩看護師と新人看護師がペアを組み、現場での教育に取り組みます。それ以外に集合教育として、全員が集まっての研修も行います。

新人看護師達は、配属された部署でよりよい看護を提供するために、日々頑張っております。新人看護師の成長は看護部教育委員会での研修だけでなく、新人看護師に関わる周囲の人々からの影響を受けながら育つていくものと考えますので、皆様のご理解、ご協力を願いします。

## ご意見の集計

分類		
	18/3月	18/4月
感謝、お褒め	5	4
施設、療養生活について	2	7
事務手続きについて	3	1
接遇について	4	0
病院運営、経営について	2	2
個人情報保護について	1	1
診療内容について	1	0
待ち時間について	0	1
合計	18	16

4月は勝手ながらご意見箱に関する掲載を休ませていただいたので、2ヶ月分の件数をご報告します。

今年度は広報に力をいれます  
くすのき委員会は、患者さんへのサービスの向上を目的として活動しています。  
これまでの委員会活動はご意見箱に寄せられたご意見に対応することが中心となっていましたが、今年度は少し視点を変え広報活動に力を入れていくこととなりました。  
ご意見の中には、病院や医療に対する理解不足が原因となっ

てはいるものもあるのではないかと考え、皆様にご理解いただきたいことを積極的に広報していきたいと思います。

昨年度までは毎月いただいたご意見の要約を紙面に掲載していましたが、それは割愛させていただきたく、今年度からはいただいたご意見に関するものだけでなく、日常の診療活動の中で皆様にお伝えしたいこと感じてまいります。



それを受けて混雑する時間帯はレジ係を1人増員し3人にすることとなりました。その準備のため、まず会計カウンターの改修工事を行い、それまで2人がしか座れなかつたところを3人が座れるよう拡張しました。次にピークの時間帯には3人がレジを打てるようシフトを見直し、委託契約を変更しました。

4月から実際に3人のレジ係で運用していますが、効果を実感していただけたでしょう？

「診察が終わつたと思つたら、  
今度は会計で待たされた」とい  
うご意見を何度もいただいたこ  
とがありました。

一連の会計業務の中でどこに  
問題があるのか?コンピュータ  
の入力や伝票の打ち出しなど一  
連の会計業務の中でどこで一番  
お待たせしているのかというこ  
とを調べた結果、混雜している  
ときは現金の受け渡しをするレ  
ジ係のところで伝票がたまつて  
いることが分かりました。

会計のレジ係を増員しました

# 毎日新聞に掲載されました

## 当院の医療安全管理

医療ミス防止に積極的な病院として、当院の特集記事が4月14日付毎日新聞に掲載されました。毎日新聞高知支局の方が当院まで取材に来られました。

当院の医療安全に対する考え方や、力を入れて取り組んでいたこと、実際に医療事故防止に役立った事例などが分かりやすく書かれています。記事の中から一部抜粋して紹介します。

は、疾患や看護、薬剤、医療行為の知識はもちろん、何が危険か分かる知識を持つことも大切です。

●また、間違いに気づいても先輩とか医師に指摘するのは難しいケースもあるのですが、間違いを指摘するのが自分たちの使命で、勇気をもって間違いを指摘し、チームで医療事故を防ぐことの重要性を研修などで教育しています。

全文をお読みになりたい方は、医療情報ギャラリー（C外来と

リハビリの間、G生理検査の向かい）に掲示していますので是非ご覧下さい。

## 盗難が多発！

4月上旬に外来で手荷物の盗難（置き引き）が多発しました。初回はB外来の待合の中で、血圧測定器を使用中に脇へ置いていた手提げを盗まれるというものでした。すぐに警察へ被害届を出しましたが、その後も数日

の間に盗難が発生し、職員による巡回や掲示による注意喚起を行いましたが、なかなか発生がおさまりませんでした。

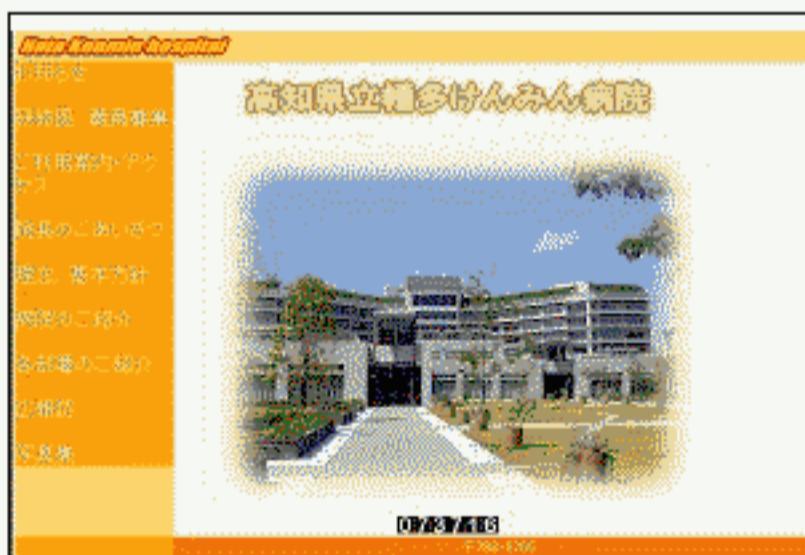
警察にもご協力いただき、4月後半からは発生しなくなりましたが、まだ犯人は捕まっていません。ちょっと手荷物から目を離したときに盗まれたりとか、体のほんの脇に置いていたのに盗まれたりというケースがありますので、できるだけ手荷物は肌身離さずお持ちのうえご注意ください。

●当院では「質をよくしない」とエラーは防げないと00年に質（Quality）を管理して事故のない正確な医療の提供を確実にする（Assurance）「Q.A委員会」を発足させました。質の確保のためには、医師も看護師にも医療や薬の知識が必要で、日々知識や技術を習得することが必要です。さらに、医療事故は伝達エラーとかコミュニケーションが悪くて発生することが多いのです。

## ホームページをリニューアルしました

5月19日に当院のホームページをリニューアルしました。内容を分かりやすく新しくするとともに、見ていて楽しくなるようにデザインに配慮し、当院の写真も随所に取り入れています。

外来スケジュールなどの役立つ情報や、本紙『ニュースレター』のバックナンバーも掲載されています。機会があればご覧いただければと思います。



外 来 診 療 医 師 室 内						
科	午前	午後	午前	午後	午前	
外科	10時 足崎 上田 足崎 上田 上田	2時 関口 関口 関口 関口 足崎				
整形外科	午前 8時 小林 武村 武村 小林	午後 9時 小松 原木 小松 原木 武村	午前 8時20分~10時			
リハビリ科	午前 武村 小松 原木 武村	午後				
脳神経外科	午前 西村 野島 西村 野島 堀田	午後				
皮膚科	午前 宮地 宮地 宮地 宮地	午後 0時30分 宮地 宮地 宮地 宮地				

病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
  2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

## 私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いない医療
  2. 十分に説明をする医療
  3. 透明性を大切にする医療
  4. 患者さんの希望を大切にする医療

また、食後のお茶には大切な意味があります。お茶に含まれる力テキンは抗菌作用で虫歯菌の増殖を抑えます。食べた後のゆすぎや歯磨きもお茶ですると効果があるでしょう。子供のおやつのあとにもおすすめです。

歯垢がつくと虫歯になりやすいので、歯磨きを徹底





虫歯は、①虫歯菌、②細菌のえさとなる食べかす、③歯の質が酸に弱いこと、この3つの条件がそろってできます。虫歯予防で気をつけたいのはやはり砂糖を多く含んだ食べ物です。ほんの少しの糖分でも、虫歯菌にとっては充分な養分になってしまいます。

砂糖を摂り過ぎるとカルシウムの排泄量が増え、虫歯を悪化させます。ビスケット、キャラメル、チョコレートなど歯につまつたり、粘着する菓子類は特に注意が必要です。

虫歯になりやすい食生活

する」とが虫歯予防には大切です。食べたら歯を磨く」とを習慣にしましょう。

6月5日	ACLS研修
6月8日	栄養不良のスクリーニング
6月13日	スキンケア（褥瘡）
6月19日	診療情報研修
6月20日	緩和ケアカンファレンス
6月22日	栄養アセスメント
6月26日	看護ケア講座
6月26日 ～30日	MICカンファレンス
6月26日	医療安全研修
6月1日	母親学級 (妊娠中の栄養、起りや すい異常)
6月6日	(運動療法・外食と嗜好品) 母親学級
6月8日	(小児科のお話し、お産の 準備と妊娠体操)
6月22日	母親学級 (分娩経過と呼吸法、病棟 案内、乳房マッサージ)

4 目の統計

外来患者数	14,635人
新外来患者数	2,106人
紹介患者数	332人
新入院患者数	490人
退院患者数	494人
平均在院日数	16日
救急車・時間外患者数	1,567人
手術件数	156件

婦多はんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
  2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
  3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
  4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
  5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。